

## 青少年の 社会参加

### 北海道青年活動元気づくりプロジェクト事業

この事業は、青年達が魅力ある地域づくりに主体的に参画し、自らの能力開発・向上と仲間づくりを進め、地域活動の担い手として成長し、地域の活性化・元気を生み出すことを目的としています。全道の青年団体・グループから事業（企画）を公募し、有識者による審査を行い、選定された事業に対し助成金を交付しています。今回は、令和3年度に交付対象となった2事業をご紹介します。

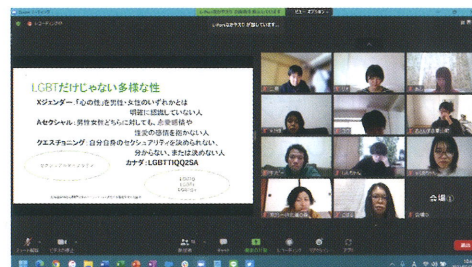
#### 特定非営利活動法人 ezorock

事業名：GREENDAY2022オンライン 実施日：2022年2月19・20日

当団体は、平成13年に野外音楽フェスのごみ問題を解決することから活動を始めその後、都市交通、子どもの体験活動、エネルギー、防災、関係人口などの活動を展開し、道内のNPO、市町村、企業等と連携し、若者が自ら考え行動しながら地域の課題に取り組む場の提供をしています。

今回、北海道の社会問題を知るきっかけ作りの場や青年層のつながりの強化の場を目的とした「GREENDAY2022オンライン」を開催しました。例年札幌市で実施していた同イベントを新型コロナウイルス感染症対策として、すべてオンラインで実施し、道内外から2日間のべ134人の若者が参加しました。

セクシュアル・マイノリティが抱えている困難や、課題の解消に取り組んでいるNPO法人北海道レインボー・リソースセンターL-Port代表理事を招いたセッション、鷹栖町・上士幌町・江別市で地域活動をしている若者達のセッションなど、計12のセッションを通して、自分の進路や北海道の将来について考え、自身のスキルアップや社会問題を身近に知り、これからを考えるきっかけになる場となりました。



#### 利尻島木材活用検討会

事業名：利尻島木材イノベーション 実施日：2021年11月～2022年2月

当検討会は、利尻島でほとんど利用されていない遊休資源である木材を島内でどのように活用するか考える事を目的に、令和2年に発足しました。

活動としては、島内の国有林視察や、林道を散策し植生への理解を深める活動、また、島内の木材で作成したベンチを林道へ設置するPR活動、地元住民を講師に招きツタなどを使った籠作り体験などを実施しています。

今回、島内の木材と、近年よく使われているエポキシ樹脂や金属の素材を組み合わせ、オリジナルのテーブルやイス等を作成し、新しい価値を創造する木工体験会を地域住民に向けて開催しました。

木工体験会には、約10名が参加しました。参加者はテーブルや棚などの大型作品の他にもコースターやペン立てなどの木工作品を製作しました。各々で木材と共に使う素材や加工方法を考え、実際に自らが作り上げることで、新たなアイデアが創造されたとの感想がありました。

また、普段あまり関わる機会のない島内の木材で加工作業をしたことにより、地域の木材をより身近に感じた様子でした。さらに、参加者からは今後も木材の活用を積極的に行いたいとのポジティブな意見が多くあり、本体験会は地域の活性化や地域住民が遊休資源の活用を考えるきっかけとなりました。

